



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-55

(2022. 7. 13)

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の個人向け貸出先数の動向（2021 年度末）

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

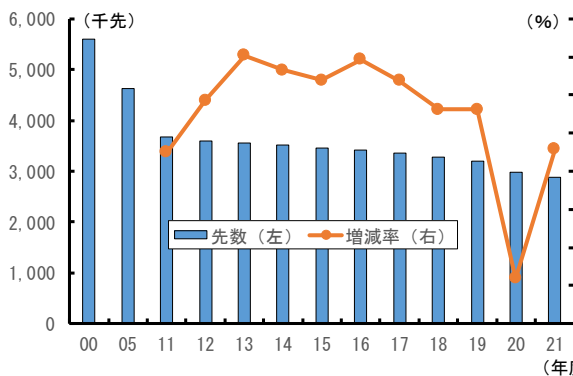
- 2021 年度末の信用金庫の個人向け貸出先数は、前期比 3.4%、10.2 万先減少の 288.2 万先となり、減少傾向が続いている。
- 地区別の個人向け貸出先数は、全 11 地区で 2011 年度末を下回った。なかでも東京の減少幅が 3 割を超え、北陸、四国の減少が続いた。
- 信用金庫別の個人向け貸出先数を 2011 年度末と 2021 年度末で比べると、増加が 16 金庫に留まったのに対し、減少は 238 金庫に達した。
- 2021 年度末の信用金庫別の個人向け貸出先数は、①0.5 万先未満が 74 金庫、②0.5 万～1.0 万先が 87 金庫、③1.0～1.5 万先未満が 31 金庫、④1.5 万先以上は 62 金庫となる。

1. 全国の場合

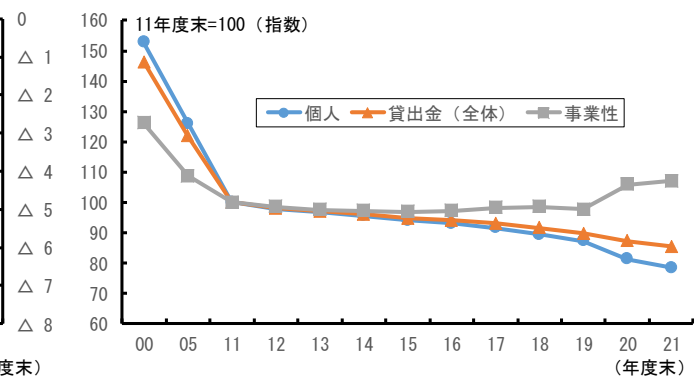
2021 年度末の信用金庫の個人向け貸出先数は、前期比 3.4%、10.2 万先減少の 288.2 万先となり、28 年連続で前期を下回った（図表 1）。個人ローンに力を入れる信用金庫は多いものの、急速に進む人口減少に加え、小口多数のローンを整理する動きが強まっていることなどから、信用金庫の個人向け貸出先数は減少傾向にある。2000 年度末の個人向け貸出先数と比較すると、48.5%、272.5 万先減少しており、この 20 年で個人向け貸出先数は半減している。

次に 2011 年度末を 100 として指数化し個人向け貸出先数と事業性貸出先数の増減状況をみると、事業性貸出先数はコロナ対応融資の伸長などもあり、2021 年度末に 107.1 となった（図表 5）。一方の個人向け貸出先数は、個人消費の落ち込みなどから 78.4 に低下しており、結果として貸出先数全体は 85.3 となった。

（図表 1）個人向け貸出先数の推移



（図表 2）内訳等の変化状況



- （備考）
1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
 2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 3. 図表 1 から 5 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

地区別の個人向け貸出先数は、全11地区で2011年度末を下回った(図表3)。東京が2011年度末比で32.3%減となり、北陸の27.9%減、四国の27.2%減が続く。なお個人向け貸出先が貸出先数(全体)に占める割合は、四国と東北が8割を超えている。

(図表3) 地区別の個人向け貸出先数

(単位：万先、%)

地区	00年度末	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	11年度末対比		比率	1金庫あたり 先数
						増減数	増減率		
北海道	31.5	24.7	19.1	14.8	14.2	△4.8	△25.4	71.6	0.7
東北	37.1	32.3	25.2	19.8	19.0	△6.2	△24.7	80.9	0.7
東京	71.0	56.7	40.2	28.5	27.2	△13.0	△32.3	49.7	1.1
関東	109.9	89.2	70.6	59.0	57.4	△13.2	△18.7	70.8	1.1
北陸	19.7	16.3	12.5	9.5	9.0	△3.5	△27.9	76.7	0.6
東海	91.4	78.3	67.9	58.5	57.2	△10.7	△15.8	73.7	1.6
近畿	100.4	82.5	64.7	52.4	50.6	△14.0	△21.7	67.8	1.7
中国	35.9	29.3	23.2	18.1	17.4	△5.7	△24.8	73.0	0.8
四国	19.5	17.1	14.0	10.6	10.2	△3.8	△27.2	82.8	1.0
九州北部	17.4	13.6	11.0	9.6	9.3	△1.6	△14.9	74.2	0.7
南九州	25.3	21.2	17.6	16.1	15.4	△2.1	△12.4	79.7	1.1
全国	560.8	462.6	367.2	298.5	288.2	△78.9	△21.5	69.8	1.1

(備考) 沖縄県は全国を含む。

3. 信用金庫別の状況

信用金庫別の個人向け貸出先数の増減状況を2011年度末と2021年度末で比べると、増加が16金庫に対し、減少は238金庫に達した(図表4)。

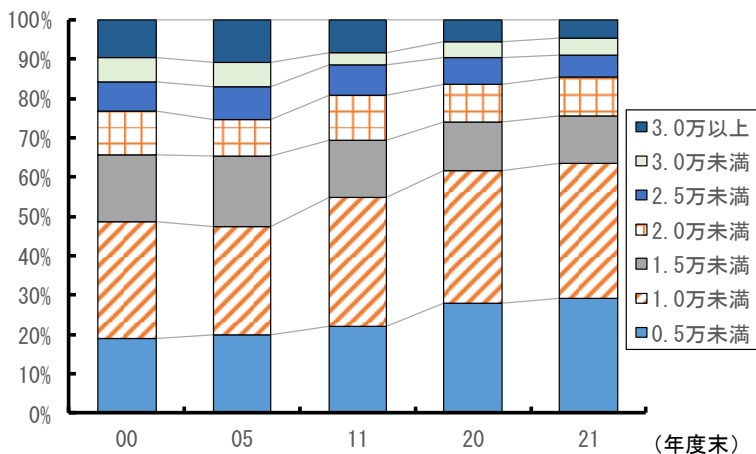
2021年度末の個人向け貸出先数は、①0.5万先未満が74金庫(構成比29.1%)、②0.5万~1.0万先未満が87金庫(同34.2%)、③1.0万~1.5万先未満が31金庫(同12.2%)、④1.5万先以上は62金庫(同24.4%)となった(図表4)。2011年度末の構成比と比べると、3.0万先以上の割合が8.4%(23金庫)から4.7%(12金庫)に半減している。

(図表4) 個人向け貸出先数の増減状況(11→21年度末)

(単位：金庫、%)

分類	金庫数	割合
増加	16	6.2
20%以上	3	1.1
10~20%未満	1	0.3
5~10%未満	8	3.1
1~5%未満	2	0.7
1%未満	2	0.7
増減なし	0	0.0
減少	238	93.7
1%未満	2	0.7
1~5%未満	11	4.3
5~10%未満	17	6.6
10~20%未満	61	24.0
20%以上	147	57.8
全国	254	100.0

(図表5) 信用金庫別の個人向け貸出先数



以上